

【評価結果:終了】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						26年度	27年度	28年度	29年度	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標名	26年度	27年度				28年度	29年度
1	鹿児島港新港区の再整備促進	建設局 都市計画課	社会基盤・都市施設基盤	<p>○事業開始年度 平成23年度</p> <p>【概要】 フェリー利用者の安全性の確保及び荷役作業の効率化等を図るため、国及び港湾管理者の県が施行する新港区の整備に対し、事業費の一部を負担する。 【対象者】－ 【具体的な活動内容】 ・整備促進に向けた意見交換、港湾負担金支出に伴う関係機関との協議、調整など 事業名:鹿児島港新港区複合一貫輸送ターミナル改良事業 事業期間:平成23～30年度・事業費:114億円</p>	市単	[概算コスト] 126,584 (内訳) ・決算額 124,881 ・人件費 1,703 (0.22人)	[概算コスト] 170,607 (内訳) ・決算額 168,887 ・人件費 1,720 (0.22人)	[概算コスト] 60,166 (内訳) ・決算額 58,463 ・人件費 1,703 (0.22人)	[概算コスト] 112,610 (内訳) ・予算額 110,920 ・人件費 1,690 (0.22人)	国・県・市連絡会の実施回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	事業の進捗率 (単位:%)	[目標値] 80 [実績値] 80 <達成率> 100.0%	[目標値] 85 [実績値] 85 <達成率> 100.0%	[目標値] 93 [実績値] 93 <達成率> 100.0%	G	G	<p>終了</p> <p>(理由) 新港区におけるフェリー利用者の安全性の確保及び荷役作業の効率化等を図るため、国及び港湾管理者の県が施行する鹿児島港新港区の整備に対し、事業費の一部を負担してきたが、30年度で整備が終了することから、本事業は終了とする。</p>	
2	谷山地区連続立体交差事業	建設局 谷山都市整備課	社会基盤・都市施設基盤	<p>○事業開始年度 平成19年度</p> <p>【概要】 都市生活の安全性・快適性の向上を図るため、鉄道の高架化により踏切を除去するとともに、除去した箇所の道路整備や高架下等の整備を行う。 【対象者】－ 【具体的な活動内容】 ・鉄道高架化による踏切除去(15箇所) ・工事区間:3,140m 高架区間:2,725m ・高架下等の整備(駐輪場、遊歩道、自転車道等)</p>	国補助	[概算コスト] 2,384,936 (内訳) ・決算額 2,352,269 ・人件費 32,667 (4.22人)	[概算コスト] 5,576,516 (内訳) ・決算額 5,534,846 ・人件費 41,670 (5.33人)	[概算コスト] 906,844 (内訳) ・決算額 864,976 ・人件費 41,868 (5.41人)	[概算コスト] 699,237 (内訳) ・予算額 658,594 ・人件費 40,643 (5.29人)	踏切除去数 (単位:箇所)	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	踏切設置箇所における交通量 上段自動車(単位:台) 下段歩行者(単位:人)	[目標値] 36,372 6,426 38,155 7,379 104.9% 114.8%	[目標値] 36,372 6,426 38,155 7,379 104.9% 114.8%	[目標値] 36,372 6,426 38,155 7,379 104.9% 114.8%	[目標値] 36,372 6,426 38,155 7,379 104.9% 114.8%	G	G	<p>終了</p> <p>(理由) 鉄道の高架化により都市生活の安全性・快適性の向上を図るとともに、高架下等の整備により、徒歩・自転車による交通結節点へのアクセス性の向上を図るため実施してきたが、31年度で整備が終了することから、本事業は終了とする。</p>
3	桜島港フェリー施設整備事業	船舶局 船舶運航課	社会基盤・都市施設基盤	<p>○事業開始年度 平成21年度</p> <p>【概要】 交通結節点としての機能強化、及びフェリー利用者の利便性の向上を図るため、桜島港施設整備計画に基づき、桜島港フェリーターミナルの建設工事等を進める。 【対象者】－ 【具体的な活動内容】 ・23年度:桜島港施設整備計画策定 ・27年度:第4バス乗降施設建設着手 ・28年度:第4バス乗降施設完成、新ターミナル建築着手 ・29年度:新ターミナル完成予定 ・30年度:第2、3バス乗降施設建設着手予定 ・31年度:事業完了予定</p>	国補助	[概算コスト] 44,568 (内訳) ・決算額 7,179 ・人件費 37,389 (4.83人)	[概算コスト] 419,689 (内訳) ・決算額 374,110 ・人件費 45,579 (5.83人)	[概算コスト] 1,325,858 (内訳) ・決算額 1,280,740 ・人件費 45,118 (5.83人)	[概算コスト] 1,072,115 (内訳) ・予算額 1,027,323 ・人件費 44,792 (5.83人)	事業進捗(事業費ベース) (単位:千円)	[目標値] 8,369 [実績値] 7,179 <達成率> 85.8%	[目標値] 374,110 [実績値] 374,110 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,275,480 [実績値] 1,275,480 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,066,950 [実績値] 1,066,950 <達成率> 100.0%	ターミナルの機能強化、フェリー利用者の利便性の向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	G	G	<p>終了</p> <p>(理由) 利用者の利便性の向上を図るとともに、フェリーの安全・快適な運航を提供するために施設整備を実施してきたが、31年度で整備が終了することから、本事業は終了とする。</p>